

中学生の海外研修

歴史の散歩道

震災と原発事故を経験し、避難を余儀なくされた村の中学生に、放射能の影響のない場所でもさまざまなことを体験し、学びを深めてもらおうと、飯館村「未来への翼」海外研修事業が立ち上げられました。最初の訪問地は環境先進国のドイツ。日独協会の支援を受け、環境問題への取り組みを学ぶ旅程が組まれました。参加を希望した18人の生徒が、避難先からドイツへ旅立ったのは、震災からわずか5か月後のことでした。

ドイツでは、歴史的な街並みや農村を巡り、「多機能森林」や再生可能エネルギーの先進地で、持続可能な社会について学びました。10日間の旅を終え帰国した中学生は、福島大学で報告会を行い、苦境に立つ村の目指すべき将来について



平成24年に中学生がシチリアやローマを訪れた「未来への翼inイタリア」。報告の冊子も発行されました。



平成24年の「未来への翼」。ドイツで再生可能エネルギーの理念を学び、故郷の未来について考えました。

未来に翼を広げて

いいたて  
なりわい  
REPORT  
vol.12

村民の皆さんの声に寄り添い、期待に応えていきたい

ハシドラッグ飯館店



県北地方を中心にドラッグストアチェーンを展開する株式会社ハシドラッグが、村が整備した商業施設に、「ハシドラッグ飯館店」をオープンしました。開店は今年の5月。ドラッグストアの村内進出は初めてです。橋浦希一社長は、「村の皆さんの帰還を促進するには、買い物環境の充実が不可欠。復興の一助になりたい」と村民から要望を募り、その声に応えようと日々取り組みを進めています。



上) 同社は震災を機に生鮮食品の取り扱いを始めたそう。店内で調理する惣菜や弁当も充実しています。下) 要望を受けクリーニングの取り次ぎを行っています。



ぎも行うこととしました。また、処方箋医薬品の店頭受け取りについても準備を進めている他、「刺身があれば」という声にも応えるべく「月に1〜2回からでも」と体制づくりを検討しています。「皆さんの期待を裏切らないよう、やれることは全部やりたい。要望があれば店頭スタッフに伝えてほしいです。全てが実現できる訳ではありませんが、必ず検討します」。

「病気の予防は、医薬品を扱う者の使命の一つと考えています。私達は、お客様の声を直接聞いて、一人ひとりに合う商品をお勧めできます。気軽に健康づくりの相談をしてほしいですね」。飯館店には現在、社員とパート社員、合わせて13人が勤務していて、そのうち7人は地元からの採用です。また店内には、購入品の飲食にも利用できるコミュニケーションスペースを設けました。「村民の一人になったつもりで、末長く一緒に村を盛り上げていきたいです」。

ハシドラッグ飯館店  
飯館村草野字大師堂1  
☎0244-26-6975  
営 午前9時～午後7時30分



「長くお付き合いいただける店舗にしたい」と若松伸茂店長(右から2人目)。スタッフが親しみやすい接客で、買い物をサポートします。

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

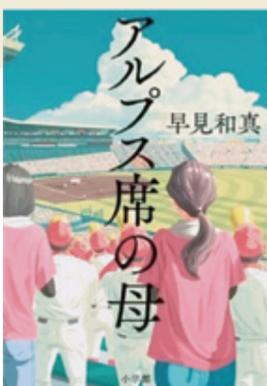
2025年本屋大賞ノミネート作品



カフェ  
阿部暁子／講談社

つらい過去を引きずる薫子。心が不安定で、自分自身を助けてあげることができなかつた。そんなとき家事代行サービス会社「カフェ」の仕事を手伝うことになる。誰かのために…その気持ちは繊細で、優しく、とてもあたたかいもの。

2025年本屋大賞ノミネート作品



アルプス席の母  
早見和真／小学館

高校球児の母目線での物語。熱くキラキラ輝く甲子園の裏側にはどのような苦労や苦悩があったのだろうか。今年の夏は違う目線で甲子園を見つみませんか。7月27日(日)に交流センター「ふれ愛館」でサインショーを開催します。わくわくする楽しい時間をぜひ一緒に過ごしましょう。